保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ステレオCDラジオ			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	RCR-600Z-H/P/A	品　番	03-5024/5025/5026	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)

お客様	
	ふりがな ★お名前　　様
	★ご住所　〒　　ー 電話　　(　　)

修理メモ

販売店	
	★住所　店名　電話 ㊞

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
https://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室へ
●通話料無料　●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006　048-992-2735
電話受付　平日9：00～17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

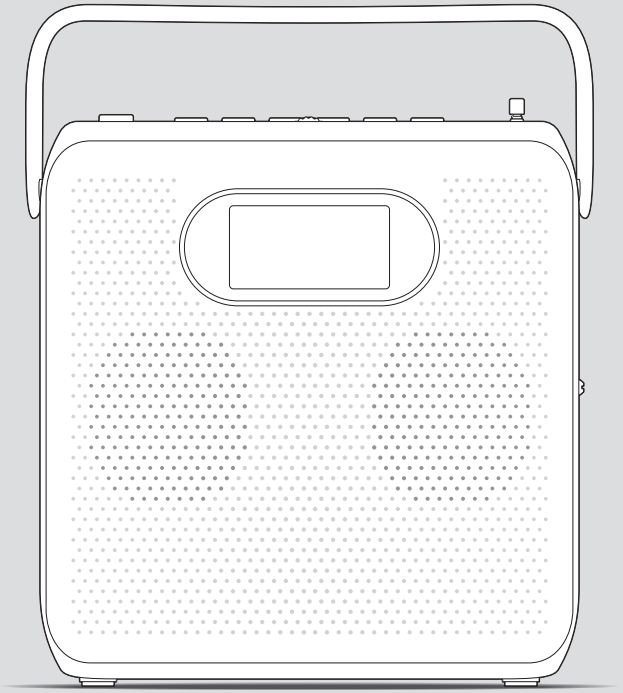
修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日9：00～17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

ステレオCDラジオ

型番：RCR-600Z-H/P/A
品番：03-5024/5025/5026



このたびは、AudioComm®ステレオCDラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

もくじ

免責事項…… 1
安全上のご注意 …… 1～3
ご使用になる前に …… 4
電源について …… 5
各部の名称…… 6
ラジオ放送を聴く …… 7
CDを聴く …… 8～10
ヘッドホンで聴く…… 11
外部機器に接続する …… 11
故障かなと思ったら …… 12
お手入れのしかた …… 13
主な仕様…… 13
保証書とアフターサービスについて …… 14
保証書…… 裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果、及び直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「感電注意」が描かれています。
○	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
	万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
接続場所を選ぶ	**電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかにコンセントから抜く** ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。
接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため電源プラグをコンセントから抜く** ●感電のおそれがあります。
水かけ禁止	**本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない** ●感電や故障の原因となります。
修理を依頼	**電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
禁止	**本製品を使用するときは必ず付属の電源コードを使う。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しない** ●付属の電源コードは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
	本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
	狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない ●火災の原因となります。
	本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない
	本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。
	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。
	海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。

⚠ 注意

極性に注意	**乾電池を入れるときは、極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる** ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電のおそれがあります。

⚠注意

コンセントから抜く

お手入れの際や移動させるときは電源プラグをコンセントから抜く
●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す
●火災・液もれの原因となることがあります。

アンテナを縮める

移動させるときはアンテナを縮める
●伸ばしたまま持ち運ぶと引っ掛かったり折れたり、けがの原因になることがあります。

指を挟まれないように注意

お子様がCD扉内に手を入れないように注意する
●けがの原因になることがあります。

音量に注意

電源を入れる前に音量を抑える。また使用中も音量を上げすぎない
●周囲の迷惑になったり、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

清掃する

電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する
●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

禁止

CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない
●レーザー光が目に当たると視力障害を起こすおそれがあります。

指定以外の乾電池は使わない
●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

ほこりの多い場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。

電磁波を発生させる機器(テレビ、モニターなど)に近づけない
●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない
●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない
●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずプラグ本体を持って抜いてください。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告
・火中への投入、加熱、分解をしない
・取り外した乾電池を幼児に触らせない
・ショートさせない
・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

⚠注意
・⊕⊖の表示どおりに入れる
・指定以外の乾電池を入れない
・使用推奨期限内の乾電池を使用する
・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
・使い切った乾電池はすぐに取り出す
・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

CDについて

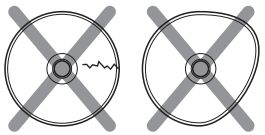
●本機は通常の音楽CDのほか、CD-R、CD-RWディスクの再生に対応しています。
●ディスクに右のマークが入ったものをご使用ください。

ご注意

●CD-R/RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類、状態によっては、再生できなかったり、ノイズ、音飛びが生じる場合があります。
●ファイナライズ処理のなされていないディスクは再生できません。
●本機ではMP3やWMAなど、圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。
●DualDisc(デュアルディスク)については、コンパクトディスク(CD)規格に準拠していないため、動作・音質を保証できません。
●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたりましては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお、「コピーコントロールCD」の詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

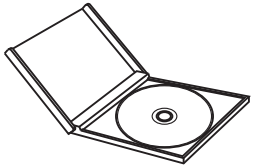
取扱上のご注意

●ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。



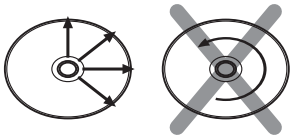
●再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

●長時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

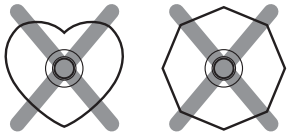


●再生面を触れないように持ってください。

●信号面(虹色に光っている面)を傷つけたり、指紋などが付かないように持ってください。指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで中心から放射状に軽く拭き取ってください。



●ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して、数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

電源について

⚠ 電源コードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行なってください。

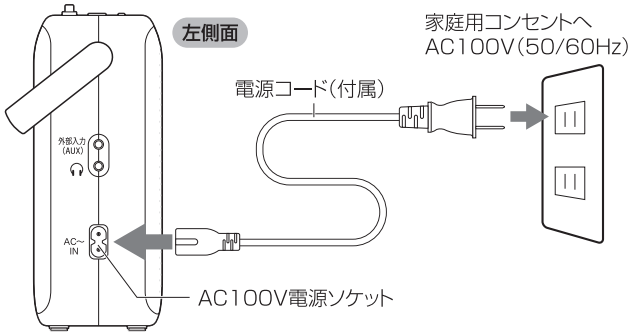
⚠ 電源を切る前に音量を最小にしてください。次に電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用電源で使うには

付属の電源コードを使って、本機のAC100V電源ソケットと家庭用コンセントを確実に接続してください。

●乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的に家庭用電源に切り替わります。

●本機を使用しないときは、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

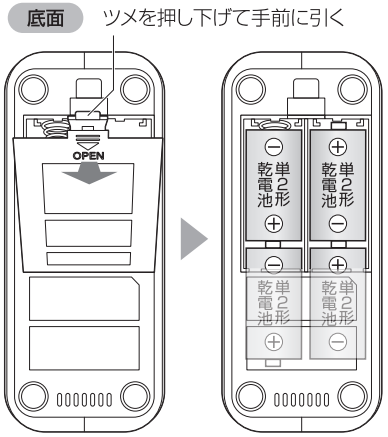


ご注意

付属の電源コードは本製品専用です。本製品を家庭用電源でご使用の際には、必ず付属の電源コードをお使いください。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池で使うには

1. 電池カバーのツメを押し下げて手前に引き、電池カバーを取り外してください。
2. 単2形乾電池×4本(別売)を、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます。
   ●コイルバネのあるほうが⊖です。コイルバネと接する乾電池を入れるときは、⊖側から入れてください。
3. 乾電池を入れ終えたら、電池カバーを元どおりにパチンと音がするまで確実に閉めてください。



単2形乾電池×4本(別売)

アルカリ乾電池をぜひご使用ください

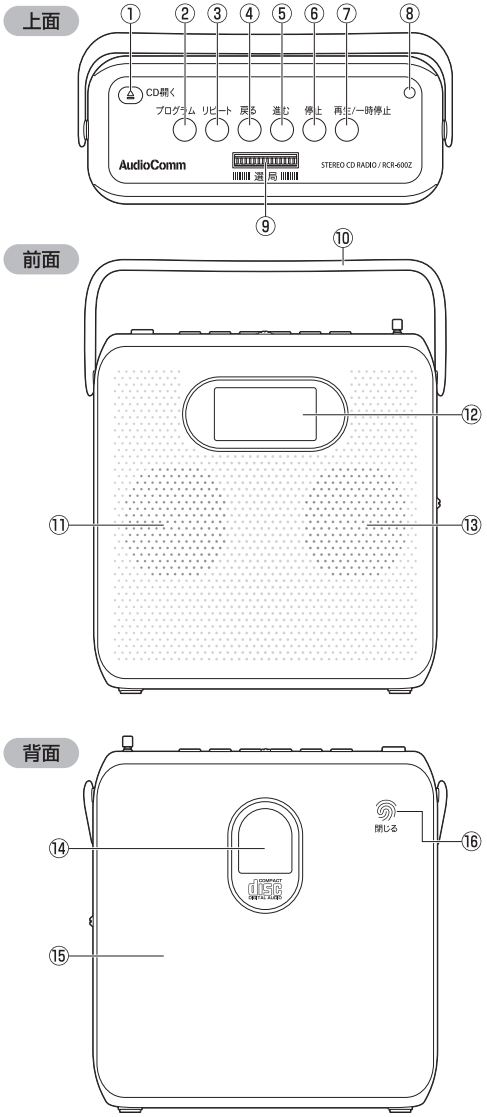
マンガン乾電池、充電式乾電池では
使用可能時間が短くなります。

ヒントとご注意

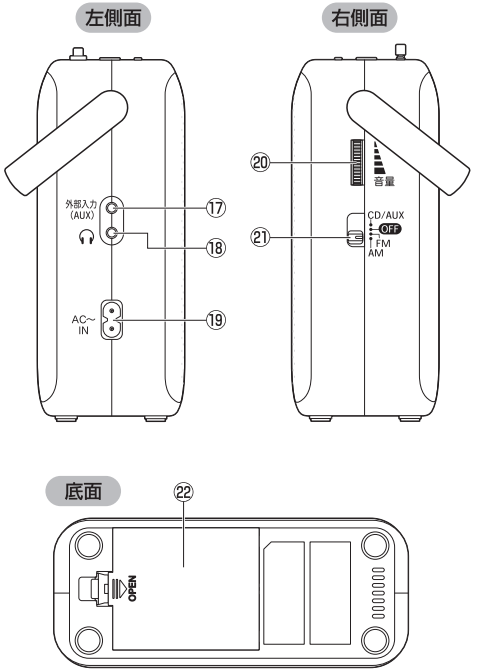
●乾電池で使いたいときは、電源コードをAC100V電源ソケットから抜いてください。

●乾電池の残量が少なくなると、以下のような症状が出ます。早めに新しい乾電池と交換してください。
- ・音量が小さくなる
- ・音量調節時に突然音が出なくなる
- ・バックライトの明るさが不安定になる
- ・CD、ラジオの音声が不安定になる

各部の名称



①CD開くボタン
②プログラムボタン
③リピートボタン
④戻るボタン
⑤進むボタン
⑥停止ボタン
⑦再生／一時停止ボタン
⑧FMロッドアンテナ
⑨選局ダイヤル
⑩キャリーハンドル
⑪左スピーカー
⑫ディスプレイ
⑬右スピーカー
⑭ディスク窓
⑮CD扉
⑯CD扉閉部
⑰外部入力(AUX)端子
⑱ヘッドホン端子
⑲AC100V電源ソケット
⑳音量ダイヤル
㉑電源／ファンクション切換スイッチ
㉒電池カバー



ヒント バックライトについて

●本機は電源を入れたときにディスプレイのバックライトが点灯します(約10秒間)。

●電源／ファンクション切換スイッチがCD/AUXにあるときは、本機上面のボタンを押すと、再びバックライトが点灯します(CD開くボタン、選局ダイヤルを除く)。

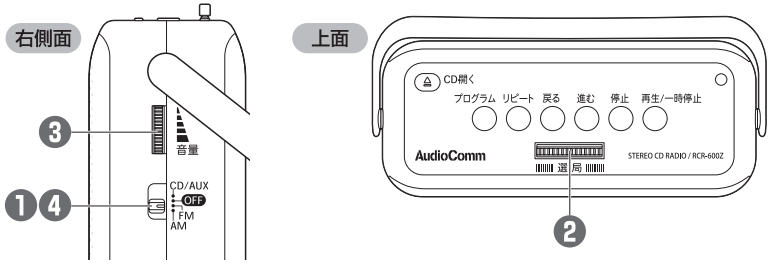
●電源／ファンクション切換スイッチがFMまたはAMにあるときは、本機上面のボタン(CD開くボタンを除く)に加えて、選局ダイヤル操作時も点灯します。

●いずれのファンクション選択時も、音量ダイヤルの操作では点灯しません。

●何も操作しない状態が約10秒間続くと、バックライトは消灯します。

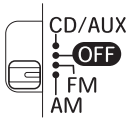
ラジオ放送を聴く

本機のチューニングはアナログ方式のため、実際に受信中の周波数とディスプレイの周波数表示に多少の誤差があることがあります。聴きとりやすい周波数表示に合わせてください。



1 電源／ファンクション切換スイッチをAMまたはFMに合わせます。

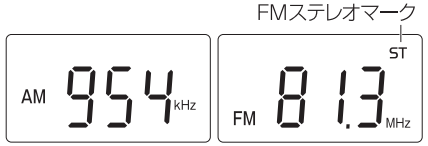
●バックライトが点灯し、「7U」と表示された後、周波数を表示します。



2 選局ダイヤルを回して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

●AM放送の場合は9kHz単位、FM放送の場合は0.1MHZ単位で周波数表示が変わります。

●FMステレオ放送を良好な状態で受信すると、FMステレオマークが表示されます。



AM放送の表示例　FM放送の表示例

3 音量ダイヤルを回して、音量を調節します。

●周囲の迷惑にならないよう、音量の上げすぎにご注意ください。

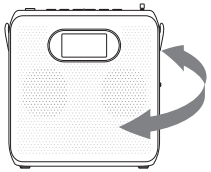
4 終了するときは電源／ファンクション切換スイッチを「OFF」に合わせます。

●電源が切れ、ディスプレイも消灯します。

受信状態を良くするには

●AM放送の場合

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きに合わせてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



●FM放送の場合

FMロッドアンテナを伸ばし、本機の向きや場所を変えて受信状態が最も良くなるように調節します。

ご注意

●テレビや蛍光灯の近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してお使いください。

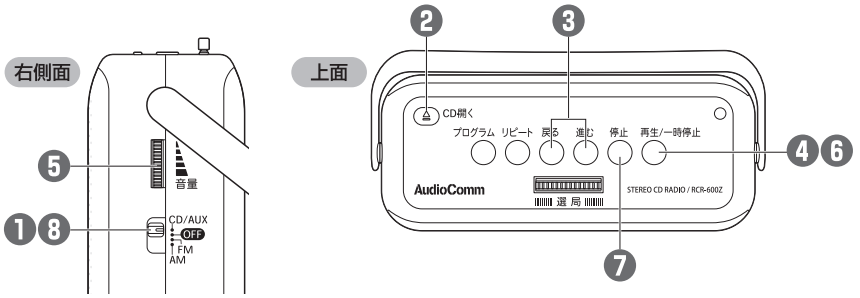
●持ち運ぶときは、必ずFMロッドアンテナを縮めてください。キャリーハンドルに当たって故障や破損の原因となったり、目をついたりしてけがの原因となります。

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76～108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた80.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

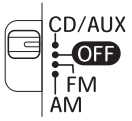
CDを聴く

外部入力（AUX）端子に外部音声入力コードが接続されていない状態で操作してください。



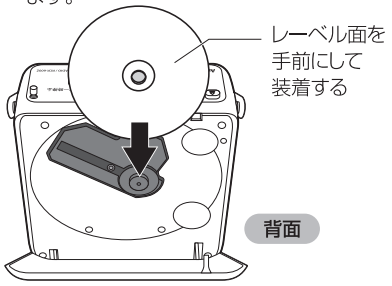
1 電源／ファンクション切換スイッチをCD/AUXに合わせます。

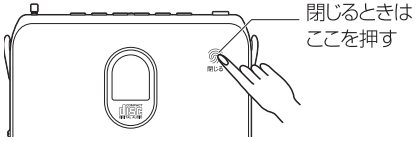
●バックライトが点灯し、「- -」が点滅してディスクの読み込みが始まります。その後、ディスクが入っていないときは「no」と表示されます。



2 CD開くボタンを押してCD扉を開け、レーベル面を手前にしてディスクを確実に装着します。

●装着し終えたら、CD扉閉部を指で押して閉めます。



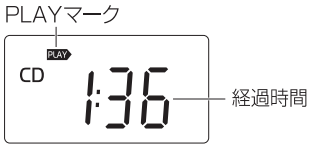


3 CD扉を閉めると自動的にディスクが回転し、しばらくすると収録されている総曲数がディスプレイに表示されます。

曲を選択するときは、戻るボタンまたは進むボタンで選択します。

4 再生／一時停止ボタンを押すと、再生が始まります。

●再生中はPLAYマークと経過時間が表示されます。



5 音量ダイヤルを回して、音量を調節します。

●周囲の迷惑にならないよう、音量の上げすぎにご注意ください。

6 再生中に再生/一時停止ボタンを押すと、再生を一時停止します。

●一時停止中はPLAYマークと経過時間が点滅します。

●もう一度押すと再生を再開します。

7 再生を止めるときは、停止ボタンを押します。

●総曲数表示に戻ります。

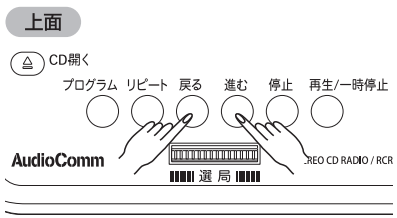
8 終了するときは電源／ファンクション切換スイッチを「OFF」に合わせます。

●電源が切れ、ディスプレイも消灯します。

ご注意

CDを取り出す際は、ディスク窓からディスクの回転が止まったことを確認してください。回転中にCD扉を開けると、再生面が傷ついたり、けがの原因になります。

スキップ／サーチ



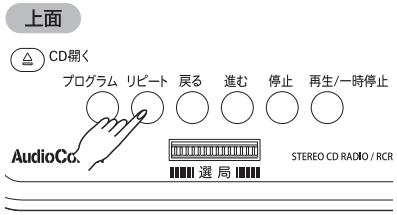
●スキップ

・再生中に進むボタンを押すと、次の曲を再生します。
・再生中に戻るボタンを押すと曲の最初に戻って再生します。2回続けて押すと1つ前の曲を再生します(押すごとに前の曲に戻って再生します)。
・停止中に操作したときは、再生／一時停止ボタンを押すと再生が始まります。

●サーチ

・再生中に進むボタンを押し続けると、早送りになります。
・再生中に戻るボタンを押し続けると、早戻しになります。
※断片的な再生音と経過時間表示を参考にしながら希望のところで指を離すと、そこから再生します。

リピート再生／ランダム再生



●1曲リピート

・再生中にリピートボタンを1回押すと、リピートマーク(⟲)が点滅し、聴いている曲を繰り返し再生します。
・停止中にリピートボタンを押した場合は、戻るボタンまたは進むボタンで曲を選んでから再生／一時停止ボタンを押すと、その曲を繰り返し再生します。

●全曲リピート

・再生中にリピートボタンを2回押すと、全曲リピートモードになり、ディスク内の全曲を繰り返し再生します。全曲リピートでは、リピートマーク(⟲)が点灯します。
・停止中に操作したときは、再生／一時停止ボタンを押すと全曲リピート再生が始まります。

●ランダム再生

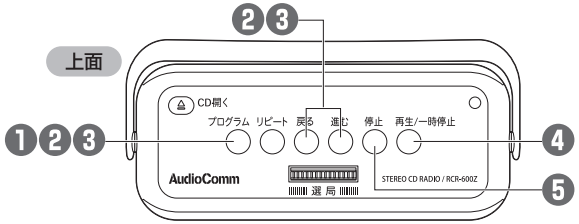
・再生中または停止中にリピートボタンを3回押すと、ランダム再生が始まります。ランダム再生時は、ランダムマーク(RAND)が表示されます。

ヒント

リピート再生やランダム再生を解除するには、ディスプレイのマークが消えるまで、リピートボタンを数回押してください。

プログラム再生

プログラム登録は停止中に行なってください。

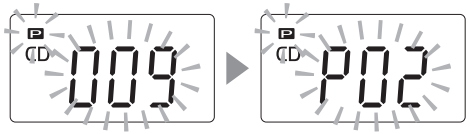


❶ 停止中にプログラムボタンを押します。

●プログラムマーク(P)と「P01」(曲順番号)が点滅します。

❷ 戻るボタンまたは進むボタンを押して登録したい曲番号を選び、再度プログラムボタンを押して確定します。

●「P02」が点滅し、2番目に登録したい曲を選択できるようになります。



❸ ステップ❷の操作を繰り返してお好みのプログラムを登録します。

●最大20曲まで登録できます。

❹ 再生／一時停止ボタンを押すと、登録した順番で再生が始まります。

●プログラム再生中はプログラムマークが表示されます。

❺ 再生を止めるときは、停止ボタンを押します。

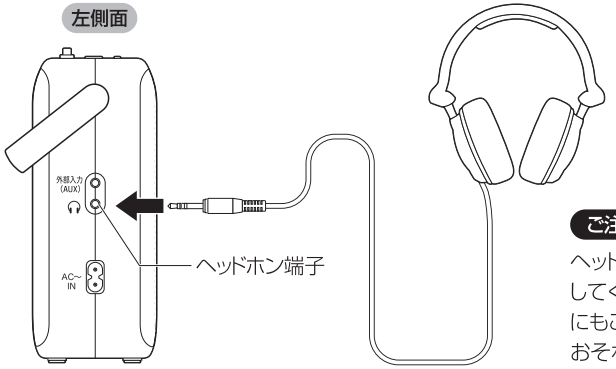
●停止ボタンを1回押した場合、再生は停止しますが登録したプログラムは残っています(プログラムマークも表示されたままです)。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、プログラムの最初から再生します。
●停止ボタンを2回押すと、再生が停止しプログラムも解除されます(プログラムマークが消えます)。

ヒント

●プログラム登録中に内容を修正するには、修正したい曲順番号が表示されるまでプログラムボタンを数回押し、その後、戻るボタンまたは進むボタンで曲番号を選んでもう一度プログラムボタンを押してください。
●プログラム登録を途中で中止するには、停止ボタンを押してプログラムマークを消してください。
●以下のいずれかの操作をすると、プログラムが解除されます。
・停止ボタンを2回押す
・CD扉を開ける
・電源を切る
・CD以外のファンクションに切り換える
●プログラム再生開始後はプログラム内容の修正はできません。停止ボタンを2回押してプログラムを解除し、最初からやり直してください。
●プログラム再生とリピート再生を併用すると、プログラムした曲順で繰り返し再生することができます。ただし、ランダム再生の併用はできません。
・1曲リピート：聴いている曲を繰り返し再生します。
・全曲リピート：プログラムした全曲を繰り返し再生します。

ヘッドホンで聴く

別売のヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を、左側面にあるヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聞こえなくなります。



ご注意

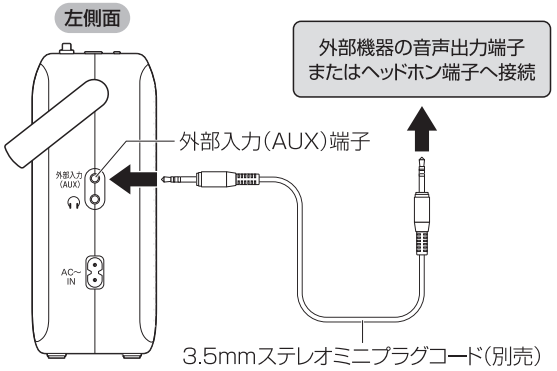
ヘッドホンは本機の音量を下げた状態で接続してください。また、使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

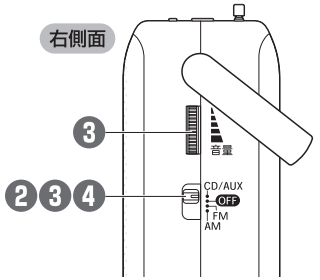
外部機器に接続する

3.5mmステレオミニプラグコード(別売)を使って、外部機器(ポータブルCDプレーヤー、デジタルオーディオプレーヤーなど)と接続し、音楽や音声を楽しむことができます。

1. 本機及び外部機器の電源が切れている状態で、図のように接続します。
2. 電源／ファンクション切換スイッチをCD/AUXに合わせます。

3. 外部機器の電源を入れ、外部機器側で再生などの操作をします。
   - ●音量の調節は、本機・外部機器のどちらでも可能ですが、できるだけ本機の音量は一定に保ち、外部機器側で操作するようにしてください。本機の音量設定を大きくしすぎると、他のファンクションに移行したとき、思わぬ大音量になるおそれがあります。
4. 終了するときは音量を絞り、双方の電源を切ります。
   - ●接続を解除するときは、必ず事前に双方の電源を切ってください。





故障かなと思ったら

症　状	チェック項目
●全般	
・電源が入らない	□電源コードが本機及び家庭用コンセントにしっかりと差し込まれていますか。
	□乾電池は正しく入っていますか。乾電池が消耗していませんか(乾電池使用時)。
・音が出ない	□音量が最小になっていませんか。
	□ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
●CD	
・再生が始まらない	□CDが裏返しに入っていませんか。
	□CDがひどく汚れていませんか。
	□規格外のディスクが入っていませんか。
	□レンズがひどく汚れていませんか。
	□CD扉がしっかりと閉まっていますか。
	□電源／ファンクション切換スイッチは正しくCD ／ AUXが選ばれていますか。
	□再生／一時停止ボタンを押して再生操作をしましたか。
	□外部音声(AUX)端子にφ3.5mmステレオミニプラグが差し込まれていませんか。
・音が出ない、音が飛ぶ	□一時停止状態になっていませんか。
	□結露状態になっていませんか。
	□レンズがひどく汚れていませんか。
	□強い振動を与えていませんか。
	□CDに大きなキズやひどい汚れはありませんか。
●ラジオ	
・受信できない	□電源／ファンクション切換スイッチは正しくAMまたはFMが選ばれていますか。
・雑音が入る	□近くで携帯電話を使用していませんか。
	□テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか。
●外部入力(AUX)	
・音が出ない	□φ3.5mmステレオミニプラグが正しく接続されていますか。
	□本機または外部機器の音量が最小になっていませんか。
	□電源／ファンクション切換スイッチは正しくCD ／ AUXが選ばれていますか。
●外部入力(AUX)	
・ラジオは聴けるがCDが動かない	□乾電池の消耗がかなり進んでいます。新しい乾電池と交換してください。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

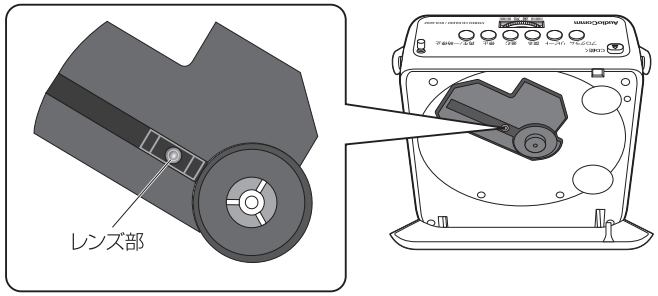
ご注意 シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー ベンジン、アルコールなどは使用しない

CDプレーヤー・レンズ部のお手入れ

レンズの汚れは、音飛びなど再生ができなくなる原因となります。CD扉を開け、レンズについたほこりやゴミを市販のブロワーでクリーニングしてください。

ご注意 レンズに布や綿棒などを当てたり、こすらないでください。故障の原因となります。



主な仕様

■電源	AC100V　50／60Hz					
	DC6V　単2形乾電池×4本(別売)					
■定格消費電力	10W					
■実用最大出力	0.8W×2					
■スピーカー	口径57mm×2(インピーダンス8Ω)					
■ラジオ	AM：522～1620kHz受信　FM：76～108MHz受信(ステレオ)					
■CD	CD-R/RWディスクの再生に対応					
■乾電池使用時の連続使用可能時間の目安						
	スピーカー使用時：AMラジオ	約15時間	FMラジオ	約14時間	CD	約11時間
	ヘッドホン使用時：AMラジオ	約18時間	FMラジオ	約17時間	CD	約15時間
■接続端子	外部音声入力端子、φ3.5mmステレオヘッドホン出力端子					
■外形寸法	幅177×高さ173×奥行70mm(突起物含まず)					
■質量	約860g(乾電池含まず)					
■付属品	専用電源コード、保証書付取扱説明書					

※乾電池使用時の連続使用可能時間の目安は、アルカリ乾電池新品使用時、音量中程度の場合の目安です。
※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
※本書で使用している図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。